

技術紹介セミナー

全自動タイムラプス生細胞イメージング

※部門には設置されていない機器を用いてのご紹介になります。

生細胞の経時変化を撮影する事は非常に時間がかかり、観察中に細胞周辺の環境を一定に保つ事は大変です。本セミナーでは「全自動化」によってこれら問題を解決する技術について、エッセンバイオサイエンス社のIncuCyte®を例に、ご紹介致します。

【装置の特徴】

- ・CO2インキュベーターの中に設置して使用し、倍率、撮影領域、撮影間隔、解析条件等の設定を行えば、自動で画像を撮影・解析し続けます。また、遠隔操作によりインキュベーターを開く事無く、リアルタイムに結果の確認や設定の変更をする事が可能です。
- ・4~20倍の倍率で、位相差、蛍光（赤、緑）、動画の撮影に対応しています。
- ・幅広い種類の容器・プレートを設置可能で、最大6枚のマイクロプレートを格納できます。また、各プレートで異なる撮影条件を設定し、複数ユーザーで同時に利用する事が可能です。
- ・アポトーシス、細胞毒性、細胞増殖などをはじめとした20種類以上の解析アプリケーションに対応しており、様々な定量データを可視化して論文用のグラフを簡単に作成する事が可能です。

日 程

平成29年12月14日（木） 13:30~14:30

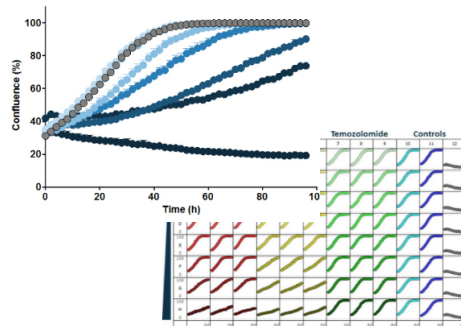
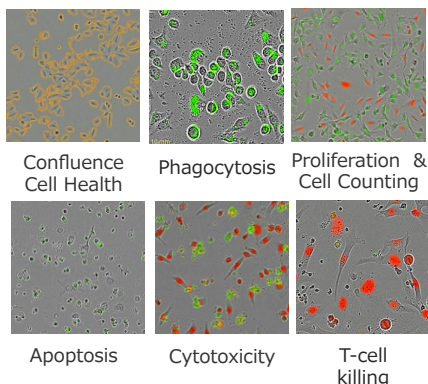
場 所

分子医学部門棟2階 セミナー室

担 当

エッセンバイオサイエンス株式会社
テクニカルセールスマネジャー 山岡耕志

2018年1月に部門にて、実機を用いたデモを実施する予定です



sartorius
IncuCyte®

東北化学薬品株式会社
担当：鈴木友里奈

【問合せ先】

秋田大学バイオサイエンス教育・研究サポートセンター 分子医学部門
担当：幸丸・千田（内線 6191） HP：<http://www.med.akita-u.ac.jp/~kiki/>

